



教育目標
心身ともに健康で 実践力のある子ども

和奈美の子の誓い
「わ」…わかるまで、しんげんに学習しよう。
「な」…なかよく、力を合わせて仕事をしよう。
「み」…みんなで、じょうぶな体をつくろう。

今年度の重点目標

考えを伝え合う子
〈書く〉

人を大切にする子
〈力を合わせる〉

進んで運動する子
〈走りぬく〉

達成目標

- ①【思考力・判断力・表現力の向上】
自分の思いや考えをもち、ノート等書いている児童の割合を80%以上にする。
- ②【基礎的・基本的な学力の定着】
各教科(低2教科, 中高4教科)ワークテストの正答率80%以上の児童を80%以上にする。

- 【問題を自分たちで解決しようとする態度の育成】
- ① 学校生活で、友達と力を合わせて学習したり活動したりしている児童の割合が、全学年で市平均値を上回る。
- 【学校の楽しさの感得】
- ② 学校生活が「楽しい」と肯定的に評価する児童の割合100%を目指す。
- ③ いじめ問題の解消率を100%にする。

- ①【バランスのとれた体力】
- ・体力テストで前年度の全国平均値を上回る運動能力の割合を、70%以上にする。
- ・第2回体力テストで、1回目の体力テストの自分の結果を上回る児童の割合を、70%以上にする。
- ②【規則正しい生活の習慣化】
保護者と決めた就寝・起床時刻を守っている児童の割合を80%以上にする。

教育活動

- ①-1 子どもの興味・関心や問題意識、必要感を基に学習課題を設定する授業の実施。
- ①-2 子どもが書いた考えを基に、かかわらせながら問題解決を図る授業の実施。
- ①-3 間違いや失敗をおそれずに表現できる、安心感のある雰囲気づくり。(学習環境・学級づくり)
- ②-1 ワークテストの前後に、ミニテストや県や市のWeb配信テストの実施。
- ②-2 「学年×10分」の家庭学習に取り組ませる。

- ① 「いわむろスマイルキャンペーン」と連動させた校内あいさつ運動の実施(学期1回)
- ② 「温かな言葉遣い」(励ます、褒める、感謝の言葉遣い)を重視して、自己肯定感が得られるような生活の推進。
- ③ 「かかわり思いやる」ことを重視した活動(授業、わなみ班、児童会活動、学校行事等)及びコミュニケーション能力の育成を目指した取組の推進。

- ①-1 年間を通した「ランRUN運動」「ビュンビュン運動」の推進。
- ①-2 運動量を確保し、運動の楽しさや特性を味わうことのできる体育授業を実施する。
- ② 早起きを中核とした、基本的な生活習慣の定着を目指した活動の実施。

運営活動

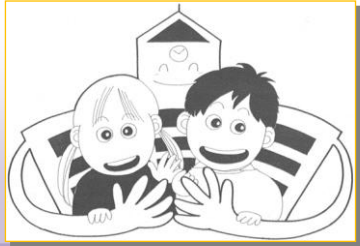
- ①-1 思考力・判断力・表現力の向上を図る授業の具現に向けた継続した校内研修を行う。
- ①-2 授業づくり「和納スタンダード」の指導を推進する。
- ②-1 ミニテストやWeb配信テストの結果を集約・分析、活用する。
- ②-2 家庭との連携・小中連携による「家庭学習強調週間」を年4回実施する。

- ① 目標に対する達成状況の振り返りをこまめに行い、目標や達成度を明確にする手立てを工夫する。
- ② リーダーシップとフォローシップを育てる縦割り班活動を工夫する。(学校行事、児童会活動で生かす縦割り班活動)
- ③ 子どもの変化や課題に対応するために、保護者・地域・関係機関との連携を進める。

- ①-1 「ランRUN運動」「ビュンビュン運動」について個々の取組の様子を見取りながら意欲を喚起する。
- ①-2 過去の体力テストの結果を見直し、今後の体力テストに向けた改善の方策を考え、実技講習会を実施する。
- ② 保健指導や保健学習と連携させながら、よりよい生活習慣づくりに取り組む。計画に沿った系統的な指導を実施する。

特別支援教育 『だれもがわかりやすく、安心して参加できる授業づくりの推進』
☆ すべての子どもが安心して授業や活動に参加できるような環境づくりや個別の配慮の仕方について工夫する。
☆ 保護者との相談をとおして、その子どもにとって学習しやすい、生活しやすい学級・学校となるような支援を行う。

- 地域と共に育てる和奈美の子(学・社・民の融合)**
- 「地域と学校パートナーシップ事業」の推進
 - 学習支援ボランティアの活用と公民館・諸団体との積極的な連携
 - PTA・JA・地域の協力による学校教育田事業の推進
 - セーフティスタッフの支援による児童の見守り活動
 - 学習を支援する「わなみスクールスタディ」の実施



児童の実態

- ・ 素直にあいさつを返すことはできるが、自ら進んで、時と場に応じたあいさつをすることに課題がある。
- ・ 明るく素直で、与えられた課題に対しては真面目に取り組む。
- ・ 基礎・基本は定着しつつあるが、思考力・判断力・表現力はさらに伸ばすことが課題である。
- ・ 自分から進んで将来のことを考えるのが苦手である。

地域・保護者・教師の願い

- ・ 元気よく、あいさつや返事ができる子ども
- ・ 確かな学力を身に付けた子ども
- ・ 思いやりの心をもった子ども
- ・ 心身ともにたくましい子ども
- ・ 地域を愛し大切にする子ども

「全ては和納小の子どものために」
和納小学校は、一人一人に確かな力が身に付く、心を込めた教育を推進します。